



2025 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 ミ ラ イ ア ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 兵部 匡俊
(コード：4 2 3 8 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経営企画部長 羽山 哲生
電 話 番 号 0 3 (3 9 8 6) 3 7 8 2

2026 年 1 月期第 3 四半期累計期間 連結業績予想に関するお知らせ

未公表でありました 2026 年 1 月期第 3 四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 1 月期第 3 四半期（累計）の連結業績予想（2025 年 2 月 1 日～2025 年 10 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-
今回修正予想 (B)	9,500	490	520	380	42.06
増 減 額 (B-A)	-	-	-	-	
増 減 率 (%)	-	-	-	-	
(参考) 2025 年 1 月 期第 3 四半期実績	10,271	1,037	1,104	756	83.93

2. 2026 年 1 月期第 3 四半期（累計）の連結業績予想の開示理由

第 3 四半期累計期間の連結業績予想につきましては、2025 年 6 月 9 日の決算発表時において合理的な業績予想の算定が困難であったことから未公表としておりましたが、現時点での入手可能な情報に基づいて予想値の算出が可能となったため、第 3 四半期累計期間の連結業績予想を公表いたします。

第 3 四半期累計期間の連結売上高につきましては、プラスチック成形事業は、半導体市場において先端品の需要が旺盛な一方で、既存品の需要回復には一定の時間を要している中、緩やかな回復基調が継続するものと見込まれます。成形機事業は、自動車業界の動向など一部不透明な状況は継続するものの、受注状況は緩やかに回復していくと見込まれます。その結果、連結売上高は 9,500 百万円となる見込みです。

営業利益及び経常利益は、売上高減少による工場稼働率の低下や減価償却費の増加等の影響もあり、前年同期に対し減益となる見込みです。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上